

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営科学特殊研究 I	1年次春学期 (1セメスター)	2	佐藤祐司
授業概要			
本演習では、博士論文のテーマに関連する文献を読み込み、博士論文の執筆を目的とする。論文執筆を進めながら、関連学会での発表を必須とし、その準備も並行して進める。演習内で進捗状況確認のための報告を適宜行い、博士論文の完成へとつなげる。			
授業目標(到達目標)			
手法を修得し、その活用ができるようになる。			
授業方法			
論文のテーマや手法に関する個別指導で演習を進める。手法の修得においては、関連論文を精読してきた上で、報告を行う。手法の活用においては、先行研究を基にした、現実の問題に対するアプローチを検討する。			
成績評価方法・基準			
手法の修得状況と、適宜行う演習内報告、学会発表の内容による。			
教科書・教材・参考文献 等			
演習を進める中で、必要な論文などを適宜指示する。			
質問への対応(オフィスアワー等)			
オフィスアワーにて対応する(月曜日・5時限)。			
授業計画			
	項目	内容	
1	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
2	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
3	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
4	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
5	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
6	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
7	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
8	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
9	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
10	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
11	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
12	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
13	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
14	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
15	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
日ごろからORIに関する基礎的な文献に接し、その基本的な考え方に馴染むようにすること。			

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営科学特殊研究Ⅱ	1年次秋学期 (2セメスター)	2	佐藤祐司
授業概要			
本演習では、博士論文のテーマに関連する文献を読み込み、博士論文の執筆を目的とする。論文執筆を進めながら、関連学会での発表を必須とし、その準備も並行して進める。演習内で進捗状況確認のための報告を適宜行い、博士論文の完成へとつなげる。			
授業目標(到達目標)			
手法を修得し、その活用ができるようになる。			
授業方法			
論文のテーマや手法に関する個別指導で演習を進める。手法の修得においては、関連論文を精読してきた上で、報告を行う。手法の活用においては、先行研究を基にした、現実の問題に対するアプローチを検討する。			
成績評価方法・基準			
手法の修得状況と、適宜行う演習内報告、学会発表の内容による。			
教科書・教材・参考文献 等			
演習を進める中で、必要な論文などを適宜指示する。			
質問への対応(オフィスアワー等)			
オフィスアワーにて対応する(月曜日・5時限)。			
授業計画			
	項目	内容	
1	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
2	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
3	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
4	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
5	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
6	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
7	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
8	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
9	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
10	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
11	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
12	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
13	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
14	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
15	手法の修得	手法に関する基礎的な論文の読み込み	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
日ごろからORIに関する基礎的な文献に接し、その基本的な考え方に馴染むようにすること。			

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営科学特殊研究Ⅲ	2年次春学期 (3セメスター)	2	佐藤祐司
授業概要			
本演習では、博士論文のテーマに関連する文献を読み込み、博士論文の執筆を目的とする。論文執筆を進めながら、関連学会での発表を必須とし、その準備も並行して進める。演習内で進捗状況確認のための報告を適宜行い、博士論文の完成へとつなげる。			
授業目標(到達目標)			
手法を修得し、その活用ができるようになる。			
授業方法			
論文のテーマや手法に関する個別指導で演習は進める。手法の修得においては、関連論文を精読してきた上で、報告を行う。手法の活用においては、先行研究を基にした、現実の問題に対するアプローチを検討する。			
成績評価方法・基準			
手法の修得状況と、適宜行う演習内報告、学会発表の内容による。			
教科書・教材・参考文献 等			
演習を進める中で、適宜必要な論文などを指示する。			
質問への対応(オフィスアワー等)			
オフィスアワーにて対応する(月曜日・5時限)。			
授業計画			
	項目	内容	
1	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
2	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
3	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
4	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
5	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
6	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
7	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
8	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
9	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
10	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
11	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
12	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
13	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
14	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
15	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
日ごろからORIに関する基礎的な文献に接し、その基本的な考え方に馴染むようにすること。			

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営科学特殊研究Ⅳ	2年次秋学期 (4セメスター)	2	佐藤祐司
授業概要			
本演習では、博士論文のテーマに関連する文献を読み込み、博士論文の執筆を目的とする。論文執筆を進めながら、関連学会での発表を必須とし、その準備も並行して進める。演習内で進捗状況確認のための報告を適宜行い、博士論文の完成へとつなげる。			
授業目標(到達目標)			
手法を修得し、その活用ができるようになる。			
授業方法			
論文のテーマや手法に関する個別指導で演習は進める。手法の修得においては、関連論文を精読してきた上で、報告を行う。手法の活用においては、先行研究を基にした、現実の問題に対するアプローチを検討する。			
成績評価方法・基準			
手法の修得状況と、適宜行う演習内報告、学会発表の内容による。			
教科書・教材・参考文献 等			
演習を進める中で、適宜必要な論文などを指示する。			
質問への対応(オフィスアワー等)			
オフィスアワーにて対応する(月曜日・5時限)。			
授業計画			
	項目	内容	
1	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
2	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
3	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
4	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
5	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
6	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
7	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
8	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
9	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
10	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
11	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
12	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
13	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
14	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
15	手法の活用	経営問題への手法の活用に関する検討	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
日ごろからORIに関する基礎的な文献に接し、その基本的な考え方に馴染むようにすること。			

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営科学特殊研究 V	3年次春学期 (5セメスター)	2	佐藤祐司
授業概要			
本演習では、博士論文のテーマに関連する文献を読み込み、博士論文の執筆を目的とする。論文執筆を進めながら、関連学会での発表を必須とし、その準備も並行して進める。演習内で進捗状況確認のための報告を適宜行い、博士論文の完成へとつなげる。			
授業目標(到達目標)			
手法を修得し、その活用ができるようになる。			
授業方法			
論文のテーマや手法に関する個別指導で演習は進める。手法の修得においては、関連論文を精読してきた上で、報告を行う。手法の活用においては、先行研究を基にした、現実の問題に対するアプローチを検討する。			
成績評価方法・基準			
手法の修得状況と、適宜行う演習内報告、学会発表の内容による。			
教科書・教材・参考文献 等			
演習を進める中で、適宜必要な論文などを指示する。			
質問への対応(オフィスアワー等)			
オフィスアワーにて対応する(月曜日・5時限)。			
授業計画			
	項目	内容	
1	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
2	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
3	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
4	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
5	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
6	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
7	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
8	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
9	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
10	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
11	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
12	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
13	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
14	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
15	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
日ごろからORIに関する基礎的な文献に接し、その基本的な考え方に馴染むようにすること。			

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営科学特殊研究VI	3年次秋学期 (6セメスター)	2	佐藤祐司
授業概要			
本演習では、博士論文のテーマに関連する文献を読み込み、博士論文の執筆を目的とする。論文執筆を進めながら、関連学会での発表を必須とし、その準備も並行して進める。演習内で進捗状況確認のための報告を適宜行い、博士論文の完成へとつなげる。			
授業目標(到達目標)			
手法を修得し、その活用ができるようになる。			
授業方法			
論文のテーマや手法に関する個別指導で演習を進める。手法の修得においては、関連論文を精読してきた上で、報告を行う。手法の活用においては、先行研究を基にした、現実の問題に対するアプローチを検討する。			
成績評価方法・基準			
手法の修得状況と、適宜行う演習内報告、学会発表の内容による。			
教科書・教材・参考文献 等			
演習を進める中で、適宜必要な論文などを指示する。			
質問への対応(オフィスアワー等)			
オフィスアワーにて対応する(月曜日・5時限)。			
授業計画			
	項目	内容	
1	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
2	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
3	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
4	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
5	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
6	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
7	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
8	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
9	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
10	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
11	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
12	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
13	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
14	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
15	論文指導	博士論文の執筆、及び必要な指導	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
日ごろからORIに関する基礎的な文献に接し、その基本的な考え方に馴染むようにすること。			